

JCAABE リレートーク

【JCAABE リレートークのお知らせ】

JCAABE 会員の活動内容紹介のリレートークを企画しました。トークしていただいた会員から、次のトーク者をご紹介頂くという形で、順にリレーしていきます。1時間の中で、40分のトーク、20分の質疑応答タイムとして会員の皆さんと活発なディスカッションができればと思います。

■紹介文：今回は東北の中で宮城へバトンを繋げていただきます。手島さんは東北大学の同じ研究室の先輩にあたり、山本理顕設計工場を経て 1996 年に独立。住宅から公共施設まで様々な建築を数多く手掛けられています。東日本大震災後は復興支援にもアグレッシブに取り組み、県境を飛び越え走っている姿からいつもパワーをもらっています。手島さんのシンプルで明快な建築をつくりあげていく中で、人とまちとどのように向き合ってきたのか。夏の暑さにも引けをとらない熱いお話を楽しみにしております。(紹介者：福士 美奈子)

第9回 2025年8月5日(火) 19:00~20:00

ZOOM

<https://us02web.zoom.us/j/83995008311?pwd=qfR1ifO85jT58N12l4zswypXbiJ7ai.1>

ミーティング ID: 839 9500 8311

パスコード: 741502



見守型災害公営住宅のコモン空間が、 入居者に使われる理由と必要な取り組み

プレゼンター：手島 浩之 都市建築設計集団/UAPP 代表

1967 岡山県生まれ

1990 東北大学工学部建築学科 卒業

1990 山本理顕設計工場

1996 有限会社 都市建築設計集団/UAPP 設立



東日本大震災においては、入居者の相互見守りを意図し、コモン空間を導入した災害公営住宅が多く試みられました。それらのコモン空間が入居者によって、使われたり使われなかったりする理由と必要な取り組みについて考えます。

